

… 雨でも休まず；第101、102、103回 …

## 「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：4月5日(第一土曜日)、参加費300円。  
弁当持参。作業は、早めに切り上げてFSC準備班を相談する。
- ・活動2：小原本陣の森：4月13日(第二日曜日) 参加費300円。  
弁当持参、9時15分駅前集合。車分乗で行く。新しい試みに挑戦
- ・活動3：若柳嵐山の森：4月20日(第三日曜日) 参加費500円。  
弁当は飯だけ持ってくる事、4月予定の植樹祭準備などを行う。
  - ・活動3のみ、必ず申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636(石村)
- ・集 合：相模湖駅前9時15分。8時42分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
- ・服 装；汚れても良い格好・着替え 短パン 足元が滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて…保険証写し  
そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」
- ・臨時1：活動発表会：渋谷：国連大学構内／NPOセンター広場。  
4月3日～5日／、午後1時～7時30分。マルモ出版と共に催。後援  
日本総合研究所。
- ・臨時2：「緑のダム学級 in 北相模」：4月6日、  
於：若柳嵐山の森。損保ジャパンとの共催による自然体験教室。
- ・臨時3：みどりの日／4月28日：若柳・嵐山の森／その準備  
29日：相模湖町湖畔公園

## 活動は、101回目を迎えた

沢山の人、物、事に支えられて活動は、嵐でも休まず継続して来た。活動は、500回・1000回を重ねるだろう。臨時活動を加えて年・約40回なら1000回は、25年後になる。その頃は我々は、もう生きていないが西君や三上君がリーダーに育っているだろう。来月、植樹祭で植える樹々は壮年木となっている。

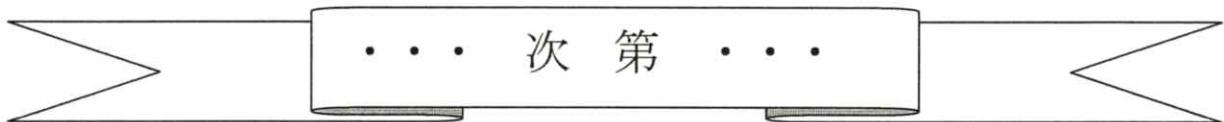
# 春爛漫：花の咲く木・植樹祭ご案内

NPO法人；緑のダム・北相模

「緑のダム・北相模」では“美しい森は、豊穣”という趣旨で、年間を通じて花や実のなる樹々を植え、蜜蜂を飼うことで受粉を促し、鳥や昆虫・小動物など豊かな生態系の森つくりを目指しています。当会会員と相模湖町町民を中心に上流・下流の市民の交流の場としての植樹祭にご参加ください。

植樹する木の種類は、まず、町の木の「カツラ」、蜜源になる「トチノキ」、「エンジュ」、「キハダ」、「サルスベリ」、「ニシキウツギ」、「ヤマザクラ」、「ソメイヨシノ」などを予定しています。

町のシンボルになる場所にカツラを、木陰のほしい場所にトチノキを、桜の老木の近くにソメイヨシノやヤマザクラを、町全体に花の咲く木を植えましょう。花の時期には蜂たちが蜜を集めに伺います。当日の参加者には、「ひまわり」の苗や種をご用意しております。お近くに植えてお楽しみください。



日 時 2003年4月20日（第三日曜日）；午前9時30分～午後15時30分  
場 所 相模湖町：若柳嵐山の森および相模湖町内（自然歩道沿い、旧甲州街道沿いなど）  
集 合 JR相模湖駅前；9時15分（JR高尾駅8時42分又は9時02分発）  
参 加 費 500円；森林ボランティア保険+苗木代+諸係り  
持 ち 物 弁当・水筒・軍手・万一に備えて保険証のコピー（町内の方は植樹のできる道具）  
申込先 相模湖観光協会 0426-84-2633 ； 緑のダム・北相模 03-3411-1636

日 程 9:15 ; 相模湖駅～若柳嵐山の森（駅より徒歩 約10分）  
10:00 ; 開会式 セレモニー 記念植樹など  
10:30 ; 植樹開始 植樹方法説明、植樹練習  
12:00 ; 食事・休憩 各団体の自己紹介など  
13:00 ; 午後の作業 苗木配布、各地区別に植樹開始  
15:00 ; 作業終了 道具の手入れ  
15:15 ; 終了式、成果報告・終礼・解散

## 参加予定団体

WWFジャパン、国土緑化推進機構、桂川・相模川流協議会、(株)ローソン、(株)ビジネスアイ、(株)アスコット、千年の森、大月・笛子森つくりの会、さがみ湖・森つくりの会、サルビア会、まち・夢工房、相模湖観光協会、相模湖町商工会、地元町内会、相模湖町（町長以下関係者）

報告1：第一土曜日（3月1日）若柳嵐山の森

報告：斎藤憲弘

## 未だ肌寒い氷雨の3月始め

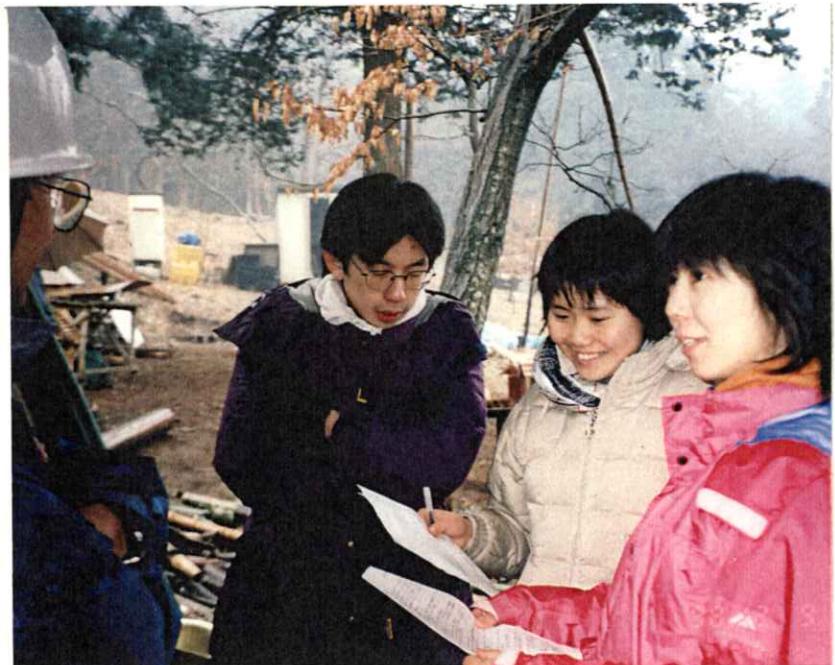
### ◎支援下さっている「損保ジャパン緑の基金」

から女性若者ら3人を含めて22人参加。

○枝打ち梯子を担いで協力協約の森の急斜面での最後の仕上げに取り組む枝打ち作業班。ボランティアには、急斜面の10mでもその高さは目も眩む。10m程の高さに必死にしがみついて小枝を切り落とす。

遠くでチェンソーの音が轟々と鳴っている。

■観察道作り班では、基金からの初参加の乙女を交えて、土留め丸太を木槌で打ち込む。この乙女たち午後は、檜丸太の剥皮剥きに挑戦。丸太、炭小屋のタルキに大変身。この損保の若者たち、みどりの基金でも「四月に緑のダム学校をやりましょう」と即決するしたたかさ。これらの集団は、帰りがけにも未だ、FSCの組織を議論している遅しさ。



「緑のダム学校／4月6日」を相談する「損保ジャパン環境財団メンバーと斎藤学校長（左端）

### ● 報告2：第二日曜日（2月9日）小原本陣の森

報告 石村 黄仁

## 小原町内会の人々と…



甲州古道を説明する郷土史家中里利夫先生と森林仲間  
甲州街道沿いの相模湖／小原町の中心に参勤交替の大名宿陣「小原本陣」があり、県の重要文化財に指定されている。こんなにキチンと歴史を残した本陣は、東海道に二つ、甲州道にここだけと言う事である。小原町内会の人々がこの貴重な史跡を後世に残すため、ボランティアで守っておられる。善意と無償のボランティアで「歴史を守る事+森を守る事」の活動が同一の地域で始まった。

先ず、捨てている間伐材を有効活用しようと観光協会を経由して町役場から有償で道しるべの注文を出してくれた。金額的には小さいものだが、捨てている間伐材を活す事ができ山主さんや榎本製材所さんに幾らかでも払えると言う事であれば、素晴らしいじゃ無いか。

そんな事を言っていると加藤仲間が「いっそ、甲州古道調査・相模湖小仏峠～大月笛子峠をつなごう」

と言い出した。もち、異存無い。俺たちの活動は何んと豪華な事か。鈴木孝夫仲間がH Pで詳しく報告

◎ 活動報告3、第三日曜日／16日：若柳嵐山の森／参加53人

報告 吉田 恒久

梅の花薫る快晴の春

○植樹祭準備班／昨年秋、篠刈りした雑木の焼却整理。すっかり枯れて良く燃える。残灰は、最良の肥料。

○観察道設営班／水の滴る究極の水源付近の急斜面の窪地に橋を架ける作業。杭を打ち込み、土止め用材を切出すチェンソーがが唸る。

午後、ダムサイトから運び揚げた流木チップをモッコ袋に入れて全員で担ぎ上げ観察道上部から道作りの仕上げに取り組む。急坂2回・3回の担ぎ上げ作業は重労働。汗が滴る。

○炭焼き班／天井ドーム作り。粘土の空気を追い出すために叩く、叩く、叩く、……。ドラム缶窯の棟上げ完成。屋根葺きのワラは、どうするかなどと今時、難しい注文も出る。

○昼休みには語り部：榎本昭一さんの話を聞く。

○町から委託を受けて作った「甲州古道の道路標識を加藤<sup>かず</sup>夫さんが経緯を説明。作成は須藤章さん。文字はこの地の郷土史研究家中里先生。心を込めて作った人達の雰囲気が良く出ていて感嘆。



軽トラ5往復／約3トンの流木チップを運び上げた。

### その他の活動

#### 1、相模原市：消費者生活展に参加

3月1日～2日／桂川・相模川流域協議会に相乗りさせてもらって、相模原市・橋本サティでの同展に間伐材製テーブル・ベンチ・活動の写真記録を展示した。来場者に森の現状を話すと一様に驚きの表情を見せるが、殆どが他人事のようでもどかしい。

#### 2、損保シャパン環境財団の環境講座

3月4日／支援を受けている同財団の公開講座に間伐材製品（テーブル・ベンチ・屏風）の展示をした。精巧な畠野仲間の屏風に感嘆の声が多くかった。

### 予告 … 参加されよ。

- 1、地域通貨セミナー（相模川流域通貨リバー）開催／3月30日、13時～15時30分、相模湖交流センター。講師：蘇我生馬氏（日本総研）、岡崎圭子氏（地域通貨クラブ）、丸田哲也氏（地域通貨インボーリング）指導による流通の実践に入る。当会は、“水源の森：フォレスト”の立場で参加。
- 2、運営会／4月18日、於：マルモ出版社、15時～、FSC準備会と運営会。
- 3、緑の日：前夜祭／4月28日；湖畔祭りの準備を泊まり込みでやる。テント・食料を持って家族連れでおいで。昨年は、森に14人、泊まった。

## 活動の多様性が当会の特徴だ…3月の活動から。

善意と無償の森林ボランティア活動は、  
楽しく意義あるものでなければ継続でき  
ない。素人の作業量は、微々たるもの  
のでも“継続が力”となって今では、  
神奈川県との協働事業も始まった。



小雨の中、良く来てくれた／緑の財団事務局員



今時、入手困難な桐と楠の古木を尾形さんから貰った。



仕上げ真近／ドラム缶竹炭窯、屋根は杉皮で葺く。

このまま森林を放置すると約400年で森林は無くなる。森が無くなれば空気も水も無くなる。そんな事にならぬよう活動しているこの会に友人の丸茂さんのお誘いで参加した。

森には飲み水が無く飲料水持参の参加となった。森林作業は、いい汗をかくが喉も渴く。持参の水を飲み干してしまうと渴きは猛烈につらい。図らずも、400年後の苦しみを体験。体験より勝るものなし。水が無ければ草木枯れ、種も育たない。この会が貴重な活動をしている事を認識した。また、何故、森林整備が必要なのかも十分理解したが、私自身は活動の楽しさにも引かれるようになった。

善意と無償のボランティア活動のこの会の懐は、かなり寂しいらしい。有るのは、伐採しきれない程の量の間伐材と何時しか森林絶滅に追いやる竹の集団と金にならない空気・素晴らしい風景だけ。その森の中にお花畠を作ろうとゴロタ石をどかしながら汗をかく。そういう状況の中で何もかも自然の中にあるものを工夫して造らねばならない。そう言えば、子供の頃は、こんなだったなぁ～。夢中で働いて腹の虫がお昼を知らせると、この会の趣旨である「同じ釜の飯を食う=同じ大鍋の汁をすする汁物」が準備してあった。この大鍋全て土地のもので作っているそうで新芽の春は、“甘草のおひたし、フキのトウのテンプラ、野蒜の味噌あえ”など豪華なおかずもあるとの事。何んでも、昨年の新年会は、猪を捕獲して“猪鍋”もあったとか。こんな雰囲気で森仲間の皆さんで取る昼食は、大家族の食事…。今、失われている何かを感じさせてくれる。そこにある自然のものを工夫して使い、皆で食事を一緒に楽しみ、童心に帰って真っ黒になりながら一日を過ごす。何も無いけれども自然だが豊富で、それだけでも楽しかった子供の頃を思い出させてくれる場所：若柳嵐山の森。こんな初参加印象でしたが、森林仲間の皆さんは如何でしょうか？

\* 清水さんのイラストが秀逸なので描いてほしいと強要したが「また、今度」と言われてしまった。

石村

### ★ 報告、3月度／運営会議：3月21日開催（第三金曜日）

1、若柳嵐山の森の事：植樹祭りの打ち合わせ、養蜂の事、15年度協力協約の事、畠班の事、県との協働事業の事。

2、小原本陣の森の事：森の状況説明、小原町との協働状況説明、甲州古道の事。

3、その他：桂川・相模川流域協議会との協働、会計体制の強化を進める。

1) 4月5日(第一土曜日)：若柳嵐山の森  
参加費300円、弁当持参。

早めに切り上げて活動内容を相談する。

2) 4月13日(第二日曜日)：小原本陣の森  
9時15分駅前集合、参加費300円

3) 4月20日(第三日曜日)、若柳嵐山の森  
参加費500円、植樹祭  
詳細別紙参加申込書、臨時活動なし。

4) 4月27日(第四日曜日)：J R 笹子駅前／10時  
H P アドレス変更；<http://www008.upp.so-net.ne.jp/kitasagami/>

・ご支援自然保護団体：国土緑化推進機構、7-11みどりの基金、損保ジャパン環境財団：

・モットー 急がず、休まず、楽しく、無理せず  
ボチボチと…、そして …沢山のご意見下さい。

・名 称 N P O：緑のダム北相模／森林部会  
事務局 154-0023

東京都 世田谷区 若林3-35-9

TEL&FAX 03-3411-1636(自宅)

TEL 03-3411-0602(事務所)

・お問い合わせ 石村黄仁 (自然科学研究所 事務局)